

# 横浜市地球温暖化対策計画書制度

## 計画書等作成マニュアル

【1.2号該当事業者用】

2026年度計画書作成新規事業者用

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素マネジメント課



# 目次

第1章 作成の概要 .....	1
1.1 作成する書類 .....	1
1.2 作成の流れ .....	2
1.3 各シートの説明 .....	3
第2章 根拠算定資料の作成 .....	4
2.1 基礎情報の入力 .....	4
2.3 エネルギー使用量の入力 .....	6
第3章 計画書の作成 .....	22
第4章 提出書の作成 .....	38
第5章 評価の確認 .....	38
第6章 作成したデータ等の提出 .....	40

## 第1章 作成の概要

このマニュアルでは、地球温暖化対策計画(計画書)等の作成方法、提出方法を御紹介いたします。計画書や報告書の提出は、条例※に定められた義務です。期日(7月末)までの作成、提出をお願いいたします。

※横浜市生活環境の保全等に関する条例

### 1.1 作成する書類

■ 提出様式(「2026keikaku\_youshiki.xlsx」)

■ シートの構成

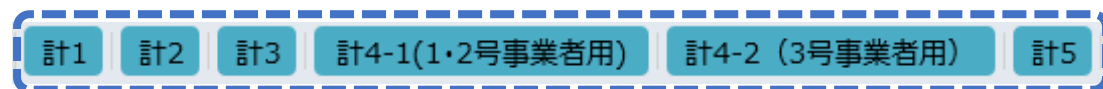
根拠算定資料

※『使用量 3』シートは使用しません。(第1, 2号該当のみの事業者)

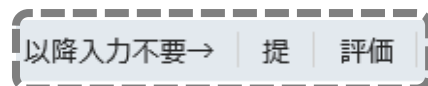


計画書(計画期間:2026~2027年度)

※『計 4-2(3号事業者用)』シートは使用しません。(第1, 2号該当のみの事業者)



『計 5』シートより右側のシートは記入不要です。



## 1.2 作成の流れ

提出様式をダウンロードする。

**根拠算定資料** を作成





排出量等の算定根拠を作成するため、  
事業所別にエネルギー使用状況等を記入する。

計画書に自動で数値が反映

**計画書** を作成



根拠算定資料から反映された値・内容を確認しながら、  
状況・説明等を記入する。

### ■ 様式への入力ルール(セルの色分け)

	(黄色)	記入してください
	(白色)	昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) セルに保護をかけているため書き換えはできません
	(緑色)	昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) 変更がある場合は上書き修正してください
	(灰色)	記入対象外です

#### 【注 意】

緑色のセルには参照式が入っています。  
一度、新しい値を入力すると参照式は消え、  
新しく入力した値に置き換わります。  
入力値を消しても、前の値(参照式)には戻りません。

自動計算等を行う際に支障を来してしまうため、 (黄色)セル及び  (緑色)セルに数値等を入力する際は、絶対に切り取り操作(CTRL+X)は行わないようお願いします

## 1.3 各シートの説明

シート名	シートの概要
はじめに	※作業不要です
使用量 1,2	エネルギー使用量を入力して、CO2排出量、エネルギー消費原単位を算定します
外部供給	他者へのエネルギー供給が有る場合のみ 入力が必要です
電力会社	小売電気事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
ガス会社	ガス供給事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
熱供給会社	熱供給事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
係数	燃料などの排出係数等を変更する場合のみ 使用します

シート名	項目
計1	1 地球温暖化対策事業者等の概要 2 計画期間 3 温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針
計2	4 公表の方法 5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等
計3	6 クレジット等の取組状況及び計画 7 設備の新設、更新等の計画 8 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況及び計画
計4-1	9の1 基本対策の実施状況及び計画 9の2 重点対策の実施状況及び計画
計5	1 事業所等の概要 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等

## 第2章 根拠算定資料の作成

※『はじめに』シートは作業不要です。

### 2.1 基礎情報の入力

#### 『使用量 1,2』シート

##### 1 基礎情報

二酸化炭素排出量算定表(1号、2号用)エネルギー使用量入力表 20

**1 基礎情報**

(1) 他者へのエネルギー供給(販売)が有る場合は、「無し」⇒「有り」に変更してください。  
 無し **①**

(2) エネルギーの集計対象となる横浜市内の事業所等の数を入力してください。  
エネルギー集計対象の事業所数  **②**  
うち、原油換算エネルギー使用量が500kI以上の事業所数   500kI未満の事業所数

(3) 総括票の原単位設定  
 事業者全体で統一の原単位を使用する **③**  
 原単位の寄与度の合計から求める

(4) 横浜市内で保有している自動車が無い場合は、「有り」⇒「無し」に変更してください。  
 有り **④**

**2 エネルギー使用量**

計画作  
オプシ  
してい

## 2.2 基礎情報の入力

### 『使用量 1,2』シート

#### 1 基礎情報

##### ① 他者へのエネルギー供給(販売)

初期値として「無し」が表示されます。

他者へのエネルギー供給(販売)がある場合は、「有り」を選択してください。

※「有り」を選択した場合は、『外部供給』シートの入力が必要です。

⇒本マニュアル 16、17 ページ参照

#### <「有り」を選択した場合の注意事項>

この項目は、熱供給事業法上の**熱供給事業者**(※)に該当し、熱供給事業を行う事業所として登録を受けている工場等または、電気事業法上の**発電事業者**(※)に該当し、発電事業を行う事業所として届け出ている工場等のみが対象となります。

上記以外の事業者は、「無し」としてください。

※**熱供給事業者**：熱供給事業法第2条第3項に規定する熱供給事業者

**発電事業者**：電気事業法第2条第1項第15号に規定する発電事業者

##### ② エネルギーの集計対象となる横浜市内の事業所等の数

事業所数を記載してください。

##### ③ 総括票の原単位設定

エネルギー消費原単位の設定について、以下のいずれかを選択してください。

- ・事業者全体で統一の原単位を使用する。
- ・原単位の寄与度の合計から求める。

##### ④ 横浜市内で保有している自動車の有無

初期値として「有り」が表示されます。

横浜市内で保有している自動車がない場合は、「無し」を選択してください。



## 2 エネルギー使用量(化石燃料、非化石燃料)

① 原油換算 500kL 以上の全事業所の名称を入力してください。(28行目 P 列以降)

② 市内事業所のエネルギー使用量を入力してください。

②-1 原油換算 500kL 未満は**まとめて**入力してください。

※排出原単位(寄与度)を設定する場合は、原単位の種類ごとにグループ化した合計値を入力してください。

②-2 原油換算 500kL 以上は**それぞれ**入力してください。

③ 都市ガスの入力方法は、次ページで説明します。

④ 「その他化石燃料」、「その他バイオマス」、「その他非化石燃料」を使用している場合は、使用しているエネルギーの種類を入力してください。

※「その他化石燃料」及び「その他非化石燃料」のいずれか若しくは両方を使用している場合は、必ず【係数】シートの記入が必要となります。詳しくは本マニュアル 18～19 ページを参照してください。

## 2.3 エネルギー使用量の入力

### 『使用量 1,2』シート及び『ガス会社』シート

#### 2 エネルギー使用量(都市ガス)

##### 『使用量 1,2』シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
			登録番号+メ ニュー	ガス事業者名	基準 tCO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	調整後 tCO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	(残差等) 調整後 tCO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	(残差等) 調整後 tCO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	単位換算量 GJ/千m <sup>3</sup>							
57			A0002	東京電力エナジー パートナー株式会社	2.05	2.05	2.05	2.05	45.0	千m <sup>3</sup>	0		④			
58			A0020_メニュー-A	東京瓦斯株式会社	2.05	0	2.05	2.05	45.0	千m <sup>3</sup>	0					
59			登録番号+メ ニュー						45.0	千m <sup>3</sup>	0					
60			登録番号+メ ニュー						45.0	千m <sup>3</sup>	0					
61			登録番号+メ ニュー	②				③	45.0	千m <sup>3</sup>	0					
62			登録番号+メ ニュー						45.0	千m <sup>3</sup>	0					
63			その他								0					
64			化石燃料								0					
65											0					
66									小計	-						

##### 『ガス会社』シート

ガス事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) - R6年度供給実績 - R7.6.30 環境省・経済産業省公表

2026年度提出用(2025年度実績値)

ガス事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) - R6年度供給実績 - R7.6.30 環境省・経済産業省公表

登録番号+メニュー	ガス事業者名	基礎 排出係数 (t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup> , t-CO <sub>2</sub> /GJ)	調整後 排出係数 (t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup> , t-CO <sub>2</sub> /GJ)
① A0002	東京電力エナジーパートナー株式会社	2.05	2.05
A0020_メニュー-A	東京瓦斯株式会社	2.05	0.00
A0020_メニュー-B(残差)	東京瓦斯株式会社	2.05	2.05
A0025_メニュー-A	東邦ガス株式会社	2.05	0.00
A0025_メニュー-B(残差)	東邦ガス株式会社	2.05	2.05
D0025	越後天然ガス株式会社	2.01	2.01
D0028_メニュー-A	東海ガス株式会社	2.05	0.00
D0028_メニュー-B(残差)	東海ガス株式会社	2.05	2.05
H0004	山口合同ガス	2.05	2.05
代替値	代替値	2.05	2.05

#### 【間違いやすいポイント】

同じガス会社でもメニューは多岐にわたります。  
 一般的な契約プランの場合は、「(残差)」と記載されるメニューを選択してください。  
 「カーボン・オフセット都市ガス」(カーボン・クレジットを活用した多様な都市ガスメニュー)  
 を調達された場合には、適合するメニュー(赤字の緑色セル)を選択してください。

## 2 エネルギー使用量(都市ガス)

- ① 『ガス会社』シートで、購入先ガス会社(メニューがある場合はメニュー別)を検索し、「登録番号+メニュー」をコピーしてください。  
該当するガス会社がない場合には、「代替値」をコピーしてください。
- ② ①でコピーした文字列を『使用量\_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ③ 都市ガスの単位発熱量を確認してください。  
初期値として 45.0(GJ/千 $\text{m}^3$ )が入力されています。  
変更の必要がある場合は上書き修正してください。
- ④ ガス会社別に都市ガスの使用量を入力してください。

## 2.3 エネルギー使用量の入力

『使用量 1,2』シート及び『熱供給会社』シート

### 2 エネルギー使用量(熱)

『使用量 1,2』シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
87			産業用蒸気								GJ	0				
88			①	登録番号+メニュー	熱供給事業者名	基礎 tCO <sub>2</sub> /GJ	調整後 tCO <sub>2</sub> /GJ	(調整等) 基礎 tCO <sub>2</sub> /GJ	(調整等) 調整後 tCO <sub>2</sub> /GJ							
89			産業用以外の蒸気1	002	東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 田町駅東口北地区	0.051	0.051	0.051	0.051		GJ	0				
90			温水1			0.051	0.051	0.051	0.051		GJ	0				
91			冷水1			0.051	0.051	0.051	0.051		GJ	0				
92			産業用以外の蒸気2	039	株式会社福岡エネルギーサービス 下川端再開発地域	0.055	0.0617	0.055	0.0617		GJ	0				
93			温水2			0.055	0.0617	0.055	0.0617		GJ	0				
94			冷水2			0.055	0.0617	0.055	0.0617		GJ	0				
95			産業用以外の蒸気3	006	丸の内熱供給株式会社	0.046	0.0451	0.046	0.0451		GJ	0				
96			温水3			0.046	0.0451	0.046	0.0451		GJ	0				
97			冷水3			0.046	0.0451	0.046	0.0451		GJ	0				
98			産業用以外の蒸気4	047	東京下水道エネルギー株式会社 後楽一丁目地区	0.0386	0.0329	0.0386	0.0329		GJ	0				
99			温水4			0.0386	0.0329	0.0386	0.0329		GJ	0				
100			冷水4			0.0386	0.0329	0.0386	0.0329		GJ	0				
101			その他購入熱								GJ	0				
102			その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)								GJ	0				
103										小計	GJ	0	0	0	0	0

『熱供給会社』シート

2026年度提出用(2025年度実績値)			
熱供給事業者別排出係数一覧】		使用量1, 2シートへ	
熱供給事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) - R5年度供給実績 - R7.6.30 環境省・経済産業省公表			
登録番号+メニュー	熱供給事業者名	基礎 排出係数 (t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup> , t-CO <sub>2</sub> /GJ)	調整後 排出係数 (t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup> , t-CO <sub>2</sub> /GJ)
002	東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 田町駅東口北地区	0.0510	0.0510
006	丸の内熱供給株式会社	0.0460	0.0451
009	池袋地域冷暖房株式会社	0.0454	0.0420
014	新都市熱供給株式会社	0.0526	0.0502
016	西池袋熱供給株式会社	0.0485	0.0448
024	みなとみらい二十一熱供給株式会社	0.0495	0.0468
033	新宿熱供給株式会社	0.0529	0.0504
035	株式会社ディー・エイチ・シー銀座	0.0488	0.0470
039_01	株式会社福岡エネルギーサービス 下川端再開発地域	0.0550	0.0617
039_02	株式会社福岡エネルギーサービス シーサイドももち地区	0.0419	0.0485
039_03	株式会社福岡エネルギーサービス 西鉄福岡駅再開発地域	0.0341	0.0398
047	東京下水道エネルギー株式会社 後楽一丁目地区	0.0386	0.0329
050	新宿南エネルギーサービス株式会社	0.0488	0.0456
057	錦糸町熱供給株式会社	0.0420	0.0390
058	品川熱供給株式会社	0.0478	0.0443
064	山王熱供給株式会社	0.0459	0.0432
068	株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス	0.0405	0.0410
069	品川エネルギーサービス株式会社	0.0447	0.0414
073	DHC名古屋株式会社	0.0499	0.0348
079_01	虎ノ門エネルギーネットワーク株式会社 虎ノ門一丁目地区	0.0460	0.0443
079_02	虎ノ門エネルギーネットワーク株式会社 虎ノ門・麻布台地区	0.0468	0.0446
代替値	代替値	0.0532	0.0532

## 2 エネルギー使用量(熱)

- ① 都市ガスと同様の方法で、『熱供給会社』シートでコピーした「登録番号+メニュー」を、『使用量\_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。  
該当する熱供給会社がない場合には、「代替値」をコピーしてください。
- ② 熱供給会社別に熱の使用量を入力してください。
- ③ 「その他購入熱」、「その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)」を使用している場合は、使用しているエネルギーの種類を入力してください。  
※「その他購入熱」、「その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)」のいずれか若しくは両方を使用している場合は、必ず【係数】シートの記入が必要となります。詳しくは本マニュアル 18～19 ページを参照してください。  
なお、廃棄物の焼却に伴い発生する廃熱を利用した蒸気・温水等の使用については、購入側の排出係数は0となります。

## 2.3 エネルギー使用量の入力

### 『使用量 1,2』シート及び『電力会社』シート

#### 2 エネルギー使用量(電気)

##### 『使用量 1,2』シート

① 別「登録番号+メニュー」は『電力会社』シートより購入先電力会社の「登録番号+メニュー」をコピー&ペーストして下さい。  
一般的な契約プランの場合はメニューの後に「残差」とつく電力メニューを選択してください。

登録番号+メニュー	電気事業者名	基礎 tCO2/kWh	調整後 tCO2/kWh	基礎 tCO2/kWh	調整後 tCO2/kWh	単位	電力量	CO2排出量
A0002	イーレックス(株)	0.000483	0.000441	0.000483	0.000441	千kWh	0	
A0004_メニューA	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0	0.000492	0.000437	千kWh	0	
登録番号+メニュー						千kWh	0	
登録番号+メニュー						千kWh	0	
登録番号+メニュー						千kWh	0	

②

③ 6社より多い場合、110~124行目を再表示してください。その他の電気事業者に該当する場合は、C128:C130のセルに供給元の事業者名を入力してください。また、F128:1130のセルに基礎排出係数(tCO2/kWh)及び調整後排出係数(tCO2/kWh)を入力してください。残差等がある場合、残差等の排出係数も入力してください。

##### 『電力会社』シート

④

【使い方の説明】  
1 電気事業者の選び出しには「オートフィルター」機能で検索し、メニューのセルをコピー。  
『東京電力エナジーパートナー(株)』を例に、以下説明します。

①「電気事業者名」のプルダウンを開く

②「東京」で検索する

登録番号+メニュー	電気事業者名	基礎 排出係数 (t-CO2/kWh)	調整後 排出係数 (t-CO2/kWh)
A0002	イーレックス(株)	0.000483	0.000441
A0003	エスパワー(株)	0.000463	0.000000
A0004_メニューA	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000000
A0004_メニューB(残差)	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000437
A0004(参考値)事業者全体	エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000436
A0006_メニューA	エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000000
A0006_メニューB(残差)	エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000441
A0006(参考値)事業者全体	エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000392
A0007	株式会社Eウィングス	0.000257	0.000372
A0008	株式会社イーセル	0.000481	0.000426
A0009_メニューA	株式会社江ネット	0.000405	0.000000
A0009_メニューB	株式会社江ネット	0.000405	0.000000
A0009_メニューC	株式会社江ネット	0.000405	0.000300
A0009_メニューD	株式会社江ネット	0.000405	0.000349
A0009_メニューE	株式会社江ネット	0.000405	0.000370
A0009_メニューF(残差)	株式会社江ネット	0.000405	0.000367
A0009(参考値)事業者全体	株式会社江ネット	0.000405	0.000325
A0011_メニューA	株式会社川瓦新(株)	0.000408	0.000000
A0011_メニューB(残差)	株式会社川瓦新(株)	0.000408	0.000419
A0011(参考値)事業者全体	株式会社川瓦新(株)	0.000408	0.000417
A0012_メニューA	出光興産(株)	0.000302	0.000000
A0012_メニューB	出光興産(株)	0.000302	0.000000
A0012_メニューC	出光興産(株)	0.000302	0.000199
A0012_メニューD(残差)	出光興産(株)	0.000302	0.000476
A0012(参考値)事業者全体	出光興産(株)	0.000302	0.000470
A0013_メニューA	株式会社オプテージ	0.000500	0.000000
A0013_メニューB	株式会社オプテージ	0.000500	0.000000

#### 【間違いやすいポイント】

同じ電力会社でも電力メニューは多岐にわたります。  
一般的な契約プランの場合は、「(残差)」と記載される電力メニューを選択してください。  
CO2フリーメニュー(排出係数0)にて調達した電力については、適合するメニュー(赤文字  
緑色セルにて表示)を選択してください。

## 2 エネルギー使用量(電気)

- ① 都市ガスと同様の方法で、『電力会社』シートでコピーした「登録番号+メニュー」を、『使用量\_1,2』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ② 電力会社別に電気の使用量を入力してください。
- ③ 初期状態では 5 社分の入力欄のみ表示しています。  
(6社目以降の入力欄を非表示としています。)  
契約している電力会社が 5 社より多い場合は、6社目以降(110~124 行目)の入力欄を再表示してください。
- ④ 電気事業者の選び出しには、オートフィルター機能を使用して検索してください。  
詳しい方法は、『電力会社』シートに記載していますので、ご参照ください。

## 2.3 エネルギー使用量の入力

### 『使用量 1,2』シート

#### 2 エネルギー使用量(その他の電力会社、自家発電)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	
	5社より多い場合、110~124行目を再表示してください。			その他の電気事業者に該当する場合は、C128:C130のセルに供給元の事業者名を入力してください。また、F128:F130のセルに基礎排出係数(1002/kWh)及び調整後排出係数(1002/kWh)を入力してください。殊差等がある場合、殊差等の排出係数も入力してください。⇒排出係数の算出根拠を別途ご提示ください。													
			その他電気事業者名	基礎 1002/kWh	調整後 1002/kWh	(殊差等) 基礎 1002/kWh	(殊差等) 調整後 1002/kWh										
125	電 気		オフサイト型PPA	②							千kWh	0	⑤				
126			自己託送_非燃料由来の非化石電気								千kWh	0					
127		①									千kWh	0					
128											千kWh	0					
129											千kWh	0					
130											千kWh	0					
131																	
132				太陽光								千kWh	0				
133				風力								千kWh	0				
134				地熱								千kWh	0				
135				水力								千kWh	0				
136				自家発電 その他非燃料由来の非化石								千kWh	0				
137				その他の燃料(化石)								千kWh	0				
138				その他の燃料(非化石)								千kWh	0				
139			その他の熱(化石)								千kWh	0					
140			その他の熱(非化石)								千kWh	0					
141										小計	千kWh	0	0	0	0	0	

#### 【間違いやすいポイント】

自家発電 太陽光

太陽光発電設備を設置している場合、発電した電気を入力してください。

(自家消費、売電の区分に関わらず、発電した電気をすべて計上してください。)

## 2 エネルギー使用量(その他の電気事業者、自家発電)

- ① その他の電気事業者該当する場合は、供給元の事業者名を入力してください。  
※その他の電気事業者該当する場合で、単位発電量を初期値(8.64)から変更する場合は、【係数】シートの記入が必要となります。詳しくは本マニュアル 18~19 ページを参照してください。
- ② 基礎排出係数(tCO<sub>2</sub>/kWh)及び調整後排出係数(tCO<sub>2</sub>/kWh)を入力してください。
- ③ 残差等がある場合、残差等の排出係数も入力してください。  
※排出係数の算出根拠を別途ご提出ください。
- ④ 「その他」の種類を入力してください。  
「その他の燃料(化石)」、「その他の燃料(非化石)」、「その他の熱(化石)」、「その他の熱(非化石)」由来の自家発電の使用量は、参考値として入力してください。  
(再生可能エネルギー等電源比率の算定に使用します。)  
なお、発電に使用した「その他の燃料(化石)」、「その他の燃料(非化石)」、「その他の熱(化石)」、「その他の熱(非化石)」の投入量については、シート上部の「化石燃料」、「非化石燃料」、「熱」の欄に入力してください。  
※「その他の燃料(化石)」又は「その他の熱(化石)」のいずれか若しくは両方を使用している場合は、必ず【係数】シートの記入が必要となります。詳しくは本マニュアル 18~19 ページを参照してください。
- ⑤ 各項目の電気の使用量を入力してください。  
事業所に設置した太陽光発電システム等を再生可能エネルギーにて発電した電力については(自家消費、売電の区分に関わらず、すべての電力)を計上してください。

## 2.3 エネルギー使用量の入力

### 他者へのエネルギー供給がある場合 1

⇒本マニュアル7ページ①他社へのエネルギー供給(販売)欄を「有り」とした場合

#### 『外部供給』シート

二酸化炭素排出量算定表(1号、2号用)エネルギー外部供給量入力表		2026年度提出用(2025年度実績値)											
エネルギーの種類	単位	横浜市合計	原簿別計算	原簿換算500kL未満の事業所 (※寄与度の合計から求める場合は、 原簿別の種類別に列を変えて外部供給 量を合計を入力してください)			原簿換算500kL以上の事業所名称						
				事業所名を 入力1	事業所名を 入力2	事業所名を 入力3	事業所名を 入力4	事業所名を 入力5	事業所名を 入力6	事業所名を 入力7	事業所名を 入力8		
1 エネルギー外部供給量													
原油(コンデンセートを除く)	kL												
原油のうちコンデンセート(NGL)	kL												
揮発油(ガソリン)	kL												
ナフサ	kL												
ジェット燃料油	kL												
灯油	kL												
軽油	kL												
A重油	kL												
B・C重油	kL												
石油アスファルト	t												
石油コークス	t												
石油ガス	t												
	液化石油ガス(LPG)												
	石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>											
可燃性天然ガス	t												
	液化天然ガス(LNG)												
	その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>											
燃料	輸入原料炭	t											
	コークス用原料炭	t											
	吹込用原料炭	t											
	輸入一般炭	t											
	国産一般炭	t											
	輸入重油炭	t											

### 他者へのエネルギー供給がある場合 2

⇒本マニュアル7ページ①他社へのエネルギー供給(販売)欄を「無し」とした場合

#### 『使用量 1,2』シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
146		原油換算エネルギー使用量					合計				kL	0	0	0	0	0
147		二酸化炭素排出量					基礎				tCO2	0	0	0	0	0
148							調整後				tCO2	0	0	0	0	0
149							基礎(残差等)				tCO2	0	0	0	0	0
150							調整後(残差等)				tCO2	0	0	0	0	0
151		エネルギー消費原単位の指標					名称				-					
152							量(C)				-					
153							単位(★)				-					
154		エネルギー消費原単位(kL/★)(有効数字四桁)					(D)=(A-B-B')÷C				kL/★					
155		原油換算エネルギー使用量(非化石燃料に0.8を乗じた量)					(A)				kL	0	0	0	0	0
156		販売した副生エネルギー					(B)				kL	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
157		購入した未利用熱					(B')				kL	0	0	0	0	0
158		販売した副生エネルギー1									kL	0	0	0	0	0
159		販売した副生エネルギー2									kL	0	0	0	0	0
160		販売した副生エネルギー3									kL	0	0	0	0	0
161		購入した未利用熱									GJ	0	0	0	0	0

## 他者へのエネルギー供給がある場合 1

### 『外部供給』シート

『外部供給』シートは、『使用量 1,2』シートの「1 基礎情報」で、他者へのエネルギー供給が「**有り**」の場合のみ入力が必要です。

- ① 原油換算 500kL 未満の事業所の外部供給量を**まとめて入力**してください。
- ② 原油換算 500kL 以上の事業所ごとに外部供給量を**それぞれ入力**してください。

#### <「有り」を選択した場合の注意事項>

この項目は、熱供給事業法上の**熱供給事業者**(※)に該当し、熱供給事業を行う事業所として登録を受けている工場等または、電気事業法上の**発電事業者**(※)に該当し、発電事業を行う事業所として届け出ている工場等のみが対象となります。

上記以外の事業者は、「無し」としてください。

※**熱供給事業者**：熱供給事業法第2条第3項に規定する熱供給事業者

**発電事業者**：電気事業法第2条第1項第15号に規定する発電事業者

## 他者へのエネルギー供給がある場合 2

### 『使用量 1,2』シート

販売した副生エネルギー※1、購入した未利用熱※2 がある場合

- ③ 「販売した副生エネルギー」がある場合、エネルギーの種類をプルダウンリストから選択してください。
- ④ 「販売した副生エネルギー」の「量」を入力してください。
- ⑤ 「購入した未利用熱」の「量」を入力してください。  
複数の種類の「購入した未利用熱」がある場合は、それらの熱量の合計値を入力してください。

※1 **販売した副生エネルギー**：自者の事業所等で発電した電力等を事業者内で消費せずに他者に供給したエネルギーを指す。なお、熱供給事業法上の熱供給事業者に該当し、熱供給事業を行う事業所として登録を受けている工場等において生産された熱は、副生エネルギーに該当しない。(外部供給シートへ入力)

※2 **購入した未利用熱**：他社から購入した未利用熱を指す。未利用熱とは、「自社内で用途がないため、他事業者へ提供しなければ、省エネ法判断基準に従って取組を行っても発生を抑制できず廃棄することが見込まれる熱」をいう。

排出係数等を変更する場合

『係数』シート

排出係数の設定

基礎情報 ※ 標準の設定から変更する場合

(1) 排出係数と、電気の発熱量の設定(標準の設定から変更する場合)

エネルギーの種類	単位発熱量		排出係数		CO <sub>2</sub> 換算	
	単位	分母単位	基礎	調整後(※1)	基礎	調整後(※2)
廃油(コージェネラターを除く)	39.3	kJ/L	0.0190	0.0190	0.0190	2.67
原油のうちコンデンサート(NGL)	34.8	kJ/L	0.0183	0.0183	0.0183	2.34
揮発油(ガソリン)	33.4	kJ/L	0.0187	0.0187	0.0187	2.29
ナフタ	33.3	kJ/L	0.0186	0.0186	0.0186	2.27
ジェット燃料油	36.3	kJ/L	0.0185	0.0185	0.0185	2.48
灯油	36.5	kJ/L	0.0187	0.0187	0.0187	2.50
軽油	39.0	kJ/L	0.0188	0.0188	0.0188	2.62
A重油	38.9	kJ/L	0.0183	0.0183	0.0183	2.75
B重油	41.8	kJ/L	0.0202	0.0202	0.0202	3.10
石油コークス	40.0	GJ/t	0.0204	0.0204	0.0204	2.99
石油ガス	50.1	GJ/t	0.0163	0.0163	0.0163	2.89
液化石油ガス(LPG)	49.1	GJ/t	0.0144	0.0144	0.0144	2.43
石炭	54.7	GJ/t	0.0138	0.0138	0.0138	2.79
可燃性天然ガス	39.4	GJ/t	0.0139	0.0139	0.0139	1.98
輸入原料	29.7	GJ/t	0.0245	0.0245	0.0245	2.59
輸入原料	29.9	GJ/t	0.0245	0.0245	0.0245	2.60
輸入原料	29.3	GJ/t	0.0251	0.0251	0.0251	2.60
輸入原料	29.1	GJ/t	0.0242	0.0242	0.0242	2.33
輸入原料	24.2	GJ/t	0.0242	0.0242	0.0242	2.15
輸入原料	27.8	GJ/t	0.0259	0.0259	0.0259	2.64
輸入原料	29.0	GJ/t	0.0259	0.0259	0.0259	3.18
輸入原料	37.3	GJ/t	0.0208	0.0208	0.0208	2.89
輸入原料	18.4	GJ/t	0.0109	0.0109	0.0109	0.74
輸入原料	3.23	GJ/t	0.0264	0.0264	0.0264	0.31
輸入原料	3.45	GJ/t	0.0264	0.0264	0.0264	0.33

『係数』シートイメージ

- 本マニュアル6～7ページ(2 エネルギー使用量(化石燃料、非化石燃料))で「その他化石燃料」及び「その他非化石燃料」を入力した場合

その他化石燃料	①	②	GJ/		③
			GJ/		
			GJ/		
その他非化石燃料			GJ/GJ	GJ	④
			GJ/GJ	GJ	

- 本マニュアル10～11ページ(2 エネルギー使用量(熱))で「その他購入熱」、「その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)」を入力した場合

その他購入熱	⑤	GJ/GJ	GJ	⑥
その他使用した熱(地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など)		GJ/GJ	GJ	

- 本マニュアル14～15ページ(2 エネルギー使用量(その他の電力会社、自家発電))でその他の電気事業者を入力し、初期値以外の単位発熱量を設定する場合

その他上記以外の買電(※1)	オフサイト型PPA	3.60
	自己託送非燃料由来の非化石電気	3.60
	⑦	⑧ 8.64
		8.64

- 本マニュアル14～15ページ(2 エネルギー使用量(その他の電力会社、自家発電))で「その他の燃料(化石)」又は「その他の熱(化石)」を入力した場合

自家発電	太陽光	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	風力	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	地熱	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	水力	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	その他燃料由来の化石	3.60	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	その他の燃料(化石)	⑨ 8.64	GJ/千kWh	千kWh	⑩ 0.000000
	その他の熱(化石)	8.64	GJ/千kWh	千kWh	0.000000
	その他の熱(非化石)	8.64	GJ/千kWh	千kWh	0.000000

## 排出係数等を変更する場合

### 『係数』シート

『係数』シートは、燃料などの排出係数等を変更する場合や、電気の発熱量を標準設定から変更する場合のみ使用します。

なお、黄色セル、緑色セルのみ変更可能です。

#### ●本マニュアル6～7ページ（2 エネルギー使用量（化石燃料、非化石燃料））で 「その他化石燃料」及び「その他非化石燃料」を入力した場合

<その他化石燃料の場合>

- ① 「使用量\_1,2」シートで入力した名称が表示されていることを確認します。
- ② 単位発熱量及びその分母単位を入力します。
- ③ 基礎排出係数を入力します。

<その他非化石燃料の場合>

- ① 「使用量\_1,2」シートで入力した名称が表示されていることを確認します。
- ② 単位発熱量を入力します。
- ④ 基礎排出係数を入力します。

#### ●本マニュアル10～11ページ（2 エネルギー使用量（熱））で「その他購入熱」、 「その他使用した熱（地熱、温泉熱、太陽熱、雪氷熱など）」を入力した場合

- ⑤ 単位発熱量を入力します。
- ⑥ 基礎排出係数を入力します。

#### ●本マニュアル14～15ページ（2 エネルギー使用量（その他の電力会社、自家発電））でその他の電力会社を入力し、初期値以外の単位発熱量を設定する場合

- ⑦ 「使用量\_1,2」シートで入力した名称が表示されていることを確認します。
- ⑧ 初期値(8.64)から任意の単位発熱量に変更します。

#### ●本マニュアル14～15ページ（2 エネルギー使用量（その他の電力会社、自家発電））で「その他の燃料(化石)」又は「その他の熱(化石)」を入力した場合

- ⑨ 「使用量\_1,2」シートで入力した名称が表示されていることを確認します。
- ⑩ 基礎排出係数を入力します。



## 2 エネルギー使用量(エネルギー消費原単位)

### 事業者全体で統一の原単位を使用する場合

- ① 黄色セルにエネルギー消費原単位の指標の「名称」、「単位」を入力してください。  
※エネルギー消費原単位の指標は、エネルギー消費量と密接な関係がある値としてください。
- ② 緑色セルに①の入力内容が反映されます。  
黄色セルにエネルギー消費原単位の指標の「量」を入力してください。  
なお、エネルギー消費原単位の数値が小数点以下となる場合には、1 以上となるように、指標の単位を調整してください。  
例： 延べ床面積の単位の㎡を千㎡とする

### 原単位の寄与度の合計から求める場合

#### 計画書にて事業所ごと異なる原単位の指標を設定する場合

- ③ 事業所ごとに、エネルギー消費原単位の指標の「名称」、「量」、「単位」を入力してください。  
※原油換算 500kL 以上の事業所の入力欄は参照式が入った緑色セルとなっておりますが、必要に応じて上書きしてください。
- ④ 寄与度の合計から求めた原単位を使用して計画書を作成する場合は「目標(2027)年度原単位」を該当セルに入力してください。

# 第3章 計画書の作成

## 『計1』シート

【間違いやすいポイント】  
提出日を忘れず入力してください。

細則第37号様式（第2条第48号）  
（総括票）

地球温暖化対策計画書

① 事業者ID 13XXXX

② 2026年 7月 30日

（提出先）  
横浜市長

③ 住所 神奈川県横浜市○○区××町■-△  
氏名 株式会社 横浜  
代表取締役社長 横浜 太郎  
（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第1項の規定により、次のとおり提出します。

1. 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社 横浜 代表取締役社長 横浜 太郎		④
主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市○○区××町■-△		⑤
主たる事業の業種	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）	⑥
	中分類	98 地方公務	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第1号該当事業者	⑦	
	<input type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 条例第144条の4該当事業者（任意提出事業者）		
	<input type="checkbox"/> 1・2号	<input type="checkbox"/> 3号事業者	
原油換算エネルギー使用量	23,212	kl	市内全事業所数 10 事業所 原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数 3 事業所
自動車の台数	100	台	⑧

2. 計画期間

計画期間	2025 年度 -- 2027 年度	⑨
------	--------------------	---

3. 温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針

⑩

株式会社○○グループに関する温室効果ガス排出量のための措置を取りまとめた「株式会社○○温暖化対策基本方針」に基づき、温室効果ガス排出削減に取り組んでいる。  
計画では、2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比30%以上削減することを目標に掲げ、運用対策の徹底やLED化の推進、次世代自動車の導入など、全事業所を挙げて取組を推進している。

## 『計1』シート

黄色セル 記入してください。

緑色セル 事業者 ID に応じて報告書の入力内容を表示しています。

変更がある場合は上書き修正してください。

新規事業者は空欄となりますので入力してください。

- ① **新規事業者は空欄**となります。**【入力不要】**
- ② 電子申請システムで提出する日付を入力してください。**【入力必要】**
- ③ 事業者の名称、代表者氏名等を入力してください。**【入力必要】**  
代表者から権限を委任されている者が提出する場合は、委任状を添付した上で、本欄を受任者の住所・氏名等に修正してください。前年度までに委任状を提出しており、代表者及び受任者に変更がない場合は提出不要です。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

- ④ 事業者の名称、代表者氏名等を入力してください。**【入力必要】**
- ⑤ 本社の所在地を入力してください。**【入力必要】**  
本社が市外にある場合は、その所在地を入力してください。
- ⑥ 主たる事業の業種をプルダウンリストから選択してください。**【入力必要】**  
主たる事業の業種については日本標準産業分類をご参照ください。
- ⑦ 該当する事業者の要件を選択してください。**【入力必要】**  
複数要件に該当する場合は、複数選択してください。  
※要件の選択により入力が必要となる範囲が変わりますので、必ず選択漏れのないように注意してください
- ⑧ 「原油換算エネルギー使用量」、「市内全事業所数」、「原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数」を入力してください。**【入力必要】**

### 2 計画期間

- ⑨ なお、「年度」は、4月1日から翌年3月31日までを指します。**【入力不要】**

### 3 温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針

- ⑩ 本計画を推進するにあたり、本市における事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制等に向けた基本的な方針を記入してください。**【入力必要】**  
また、事業者全体として地球温暖化対策に取り組んでいる中での、本計画の位置付け（市内の事業所の取組内容が、全社の取組と同じであるのか、異なる部分があるのかなど）について記入してください。

『計2』シート

4 公表の方法

細則第37号様式（第2条第48号）  
（総括票）

①

4 公表の方法

<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	アドレス	http://www.xxxx.co.jp/csr/kankyo.html
<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
<input type="checkbox"/> その他		

5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第1号及び第2号該当事業者)

5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等（第1号及び第2号該当事業者）

	特定温室効果ガス排出量		エネルギー消費原単位	再生可能エネルギー等電源比率	
	基礎	調整後			
基準年度 (2025年度)	47,528 (47,528) ② t-CO <sub>2</sub>	40,560 (36,660) ③ t-CO <sub>2</sub>	92.85 kl/ 百m <sup>2</sup>	9.90 %	
目標年度 (2027年度)	46,000 ④ t-CO <sub>2</sub>	39,000 ⑤ t-CO <sub>2</sub>	91.5 kl/ 百m <sup>2</sup>	10 %	
削減率	3.2 %	3.8 %	1.5 %		

中長期目標	● 有 ○ 無		
目標内容	2030 年度	年度	年度
	30 %削減	%削減	%削減
	2013 年度比	年度比	年度比

## 『計2』シート

### 4 公表の方法

- ① 計画書の公表方法を選択してください。【**入力必要**】  
修正が必要な場合は、変更があった項目を修正してください。  
広く公表できるよう、ホームページによる公表を推奨します。  
窓口での閲覧の場合、所在地は、市内事業所ではない場所(市外の本社等)も可能です。

### 5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第1号及び第2号該当事業者)

- ② 特定温室効果ガス排出量 基準年度・基礎 【**入力不要**】  
基準年度の値は、『使用量 1,2 シート』から反映され、基準年度における、すべての事業所のエネルギー使用に係る排出量(電気、ガス、熱の場合は通常メニューの基礎排出係数(残差等)を使用)の合計値が表示されます。(なお、下段の( )内には、メニュー別の基礎排出係数で計算した排出量が表示されます。)
- ③ 特定温室効果ガス排出量 基準年度・調整後 【**入力不要**】  
基準年度の値は、『使用量 1,2 シート』から反映され、基準年度における、すべての事業所のエネルギー使用に係る排出量(電気、ガス、熱の場合は通常メニューの調整後排出係数(残差等)を使用)の合計が表示されます。(なお、下段の( )内には、メニュー別の調整後排出係数で計算した排出量が表示されます。)
- ④ 特定温室効果ガス排出量 目標年度・基礎 【**入力必要**】  
計画期間に実施する排出抑制対策や事業活動の状況、クレジット購入等を勘案し、目標年度(計画期間の最終年度)の基礎排出量を設定してください。  
削減率は自動計算されるので入力不要です。
- ⑤ 特定温室効果ガス排出量 目標年度・調整後 【**入力必要**】  
計画期間に実施する排出抑制対策や事業活動の状況、クレジット購入等を勘案し、目標年度(計画期間の最終年度)の調整後排出量を設定してください。  
削減率は自動計算されるので入力不要です。

『計2』シート

5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第1号及び第2号該当事業者)

5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第1号及び第2号該当事業者)						
	特定温室効果ガス排出量				エネルギー消費原単位	再生可能エネルギー等電源比率
	基礎		調整後			
基準年度 (2025年度)	47,528 (47,528)	t-CO <sub>2</sub>	40,560 (36,680)	t-CO <sub>2</sub>	92.85 ① k1/ 百m <sup>2</sup>	9.90 ④ %
目標年度 (2027年度)	46,000	t-CO <sub>2</sub>	39,000	t-CO <sub>2</sub>	91.5 ② k1/ 百m <sup>2</sup>	10 ⑤ %
削減率	3.2	%	3.8	%	③ %	
中長期目標 ⑥	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無					
目標内容 ⑦	2030 年度		年度		年度	
	30 %削減		%削減		%削減	
	2013 年度比		年度比		年度比	

## 『計2』シート

### 5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第1号及び第2号該当事業者)

- ① エネルギー消費原単位・基準年度 **【入力不要】**  
基準年度の値は、「使用量 1,2 シート」から反映されます。
- ② エネルギー消費原単位・目標年度 **【入力必要】**  
計画期間に実施する排出抑制対策や事業活動の状況を勘案し、目標年度(計画期間の最終年度)のエネルギー消費原単位を設定してください。  
※エネルギー消費原単位は、数値が1以上となるように単位を調整して設定してください。(記載は小数第2位までとしてください。)  
原単位の寄与度の合計から算出した場合には、入力不要です。  
原単位の目標設定が行えるのは、計画書のみです。計画期間の途中で設定することはできません。
- ③ エネルギー消費原単位・削減率 **【入力不要】**  
エネルギー消費原単位の削減率が、以下の通り自動計算されます。  
削減率 = (基準年度の原単位 - 目標年度の原単位) / 基準年度の原単位 × 100  
なお、計算途中は各項目の端数処理後の数値で計算し、算出結果の小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの値が表示されます。
- ④ 再生可能エネルギー電源比率・基準年度 **【入力不要】**  
基準年度の値は、「使用量 1,2 シート」から反映されます。
- ⑤ 再生可能エネルギー電源比率・目標年度 **【入力必要】**  
計画期間に導入する再生可能エネルギー等の状況を勘案し、目標年度(計画期間の最終年度)の再生可能エネルギー電源比率を設定してください。
- ⑥ 中長期目標の有無を選択してください。 **【入力必要】**
- ⑦ ⑥で「有」を選択した場合は、中長期目標の「目標年度」、「目標削減率」、「基準年度」を入力してください。

『計3』シート

6 クレジット等に関する取組状況及び計画

細則第37号様式（第2条第48号）  
（総括票）

6 クレジット等に関する取組状況及び計画 ①

計画期間での導入予定  有  無

番号	クレジット等の名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO <sub>2</sub> e]	オフセット対象範囲	換算電力量	再エネ指定
1	FIT非化石証書	22	横浜市内事業所	50000kWh	<input type="radio"/>
2	(予定) グリーン熱証書	50	横浜市内事業所		
3					
4	②	③	④	⑤	⑥
5					

## 『計3』シート

### 6 クレジット等に関する取組状況及び計画

- ① 計画期間におけるクレジット等の導入予定の有無を選択してください。

**【入力必要】**

以下の項目は、具体的な計画がある場合に記載してください。**【入力任意】**

- ② 計画期間に取得する予定のクレジット等をプルダウンから選択してください。プルダウンで選択できるクレジットは、次の表の通りです。表中にないクレジットを記載する場合は、市へ削減相当量の換算方法を御相談ください。

「**カーボン・オフセット都市ガス**」(カーボン・クレジットを活用した多様な都市ガスメニュー)を調達された場合には、使用量1, 2シートの都市ガス会社メニューにて該当するメニューを選択してください。(P8~を参照してください)

クレジット等の名称	
J-クレジット_再エネ電力由来	非FIT 非化石証書(再エネ指定あり)
J-クレジット_再エネ熱由来	非FIT 非化石証書(再エネ指定なし)
J-クレジット_その他	(予定)J-クレジット
グリーン電力証書	(予定)グリーン電力証書
グリーン熱証書	(予定)グリーン熱証書
FIT 非化石証書	(予定)FIT 非化石証書

- ③ 取得する予定のクレジット等の削減量を記入してください。  
②で非化石証書等の電力量に関するクレジットを選択した場合は、以下の計算式により特定温室効果ガス削減相当量へ変換して記入してください。

電力量に関するクレジットによる「特定温室効果ガス削減相当量」  
=換算電力量(kWh)×全国平均係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh)×補正率

全国平均係数(t-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.000423
FIT補正率	1.01
非FIT補正率	1.01

- ④ オフセットの対象範囲を、市内の事業所と特定できるように入力してください。
- ⑤ ①で電力量に関するクレジットを選択した場合は、クレジットの換算電力量を入力してください。
- ⑥ ⑤で入力した換算電力量の単位をプルダウンリストから選択してください。プルダウンリストで選択できる単位の種類は、「kWh」、「千 kWh」です。

『計3』シート

7 設備の新設、更新等の計画

7 設備の新設、更新等の計画

① 計画期間での実施予定  有  無

再エネ設備

太陽光発電 2025年度完成予定の△△事業所において、約100kWの太陽光発電設備の導入を予定している。

② ③

④ 計画期間での実施予定  有  無

上記以外 2025年度完成予定の△△事業所において、建物の断熱性を高め空調負荷を削減するとともに、高効率機器・システムを導入し、省エネルギーで快適な執務空間を目指す。

⑤

8 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況及び計画

8 次世代自動車 (EV、PHV、FCV) 及びハイブリッド自動車 (HV) の導入状況及び計画

計画期間での導入予定  有  無 ⑥

次世代自動車の種別	電気自動車	プラグインハイブリッド自動車	燃料電池自動車	ハイブリッド自動車	合計
現保有台数	30	15	15	0	⑦ 60
導入画 予定期 間で 台数の	事業用	0	3	1	5
	自家用	0	0	0	⑧ 0
	軽自動車	5	0	0	5

【間違いやすいポイント】

保有、導入予定がない場合は空欄にせず、「0(ゼロ)」を入力してください。

⑧ 計画期間での次世代自動車・ハイブリッド自動車の導入予定台数は、

以下の区分で入力してください。

- ・事業用自動車：トラックやタクシー、路線バスなどの運賃や報酬を受け取り運搬する車両  
ナンバープレートに緑地に白文字で表示
- ・自家用自動車：自社所有の貨物等を運搬する車両  
ナンバープレートに白地に緑文字で表示
- ・軽自動車につきましては、事業用、自家用の合計台数を記載してください。

## 『計3』シート

### 7 設備の新設、更新等の計画

- ① 再生可能エネルギー利用設備の新設、更新等の計画について、計画期間での実施予定の有無を選択してください。【**入力必要**】
- ② ①で「有」を選択した場合は、導入予定の再エネ設備をプルダウンリストから選択してください。  
プルダウンリストで選択できる設備機器の種類は、次の表の通りです。

再生可能エネルギー利用設備機器の種類	
太陽光発電	地熱発電
風力発電	太陽熱利用
バイオマス	地中熱利用
水力発電	

- ③ ②で選択した再エネ設備について、具体的な計画を記載してください。
- ④ 再エネ設備以外の設備の新設、更新等について、計画期間中の実施有無を選択してください。【**入力必要**】
- ⑤ ④で「有」を選択した場合は、導入予定の設備について具体的な計画を記載してください。

### 8 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況及び計画

#### 【**入力必要**】

- ⑥ 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)について、計画期間での導入予定の有無を選択してください。
- ⑦ 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の、前年度3月31日時点で保有している台数を、自動車種別に入力してください。  
保有していない場合は、「0(ゼロ)」を入力してください
- ⑧ 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の、計画期間中に導入予定の台数を、自動車種別に入力してください。  
導入予定がない場合は、「0(ゼロ)」を入力してください。

# 『計4-1』シート

## 9の1 基本対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者)

細則第37号様式(第2条第48号)

9の1 基本対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者)

基本対策	対象設備	実施状況及び計画(計画期間内)				
		実施済	一部実施済	実施予定有	実施予定無	非該当
1 推進体制の整備		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 エネルギー使用量の把握		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 事務用機器の管理	事務用機器	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 受変電設備の力率の管理	受変電設備	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 照明設備の管理	年間2,000時間以上点灯する照明設備	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 空調設備の管理	空調設備	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 空調用冷凍機の管理	空調用冷凍機	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 換気設備の管理	換気設備	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 フィルターの清掃	空調設備 換気設備	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 ボイラーの管理	ボイラー	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
11 蒸気配管等の管理	ボイラー	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
12 燃焼設備の空気比管理	ボイラー 工業炉	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
13 ポンプ、ファン、ブロワー及びコンプレッサの負荷に応じた運転管理	ポンプ ファン ブロワー コンプレッサ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

## 9の2 重点対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者)

①

9の2 重点対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者)

重点対策	対策の内容	実施状況及び計画(計画期間内)	備考
1 脱炭素経営に関する取組の実施	① SBT ② RE100 ③ RE Action ④ GXリーダへの参画 ⑤ グリーン経営認証 ⑥ その他横濱市が認めた脱炭素経営に関する取組 上記①から⑥のいずれかの取組に参画等している。	<input checked="" type="checkbox"/> SBT <input type="checkbox"/> RE100 <input type="checkbox"/> RE Action <input type="checkbox"/> GXリーダ <input type="checkbox"/> グリーン経営認証 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 実施予定有 <input type="checkbox"/> 実施予定無	
2 サプライチェーン排出量の削減計画の策定	① サプライチェーン排出量を算定している。 ② サプライチェーン排出量の削減目標を設定している。 ③ サプライチェーン排出量の削減目標を達成するための施策を立案している。	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 実施予定有 <input type="radio"/> 実施予定無	
3 脱炭素に向けた調達方針の策定	① サプライヤーに対する調達方針を策定し、公表している。 ② サプライヤーに対する調達方針に沿って調達している。	<input type="radio"/> 実施済 <input checked="" type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 実施予定有 <input type="radio"/> 実施予定無	
4 環境配慮製品・サービス等の開発・製造及び提供	① 地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品・サービス等の製造・提供等を行っている。 ② ①の製品・サービス等が地球温暖化対策に貢献できる二酸化炭素量を推計している。 ③ 地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品等を研究・開発する事業に参画している。	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input checked="" type="radio"/> 実施予定有 <input type="radio"/> 実施予定無	
5 エネルギー消費効率の高い建築物の導入	① ZEBに適合した建築物、またはZEBに準拠した建築物を保有している。 ② ZEBに適合した建築物、またはZEBに準拠した建築物にテナントとして入居している。	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input checked="" type="radio"/> 実施予定有 <input type="radio"/> 実施予定無	

#### 『計 4-1』シート

9の1 基本対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者) **【入力必要】**

9の2 重点対策の実施状況及び計画(第1号及び第2号該当事業者) **【入力必要】**

- ① 対策ごとに、基準年度の実施状況及び計画期間中の実施計画を選択してください。

9の1 基本対策につきましては、各対策の管理標準の設定・運用の実施状況について選択してください。

9の2 重点対策につきましては、対策の内容についての実施状況を選択いただき、補足事項などございましたら備考欄に記入してください。

「1 脱炭素経営に関する取組の実施」でその他を選択した場合は、備考欄に参画等をしている対策について記載してください。

状況の判断については、別途定める解説資料をご参照ください。

- ・基本対策解説 [「基本対策について」](#)
- ・重点対策解説 [「新たな重点対策について」](#)

重点対策に関する根拠資料の提出は不要です。

# 『計5』シート

## 個別票

細則第37号様式（第2条第48号）  
（個別票）

地球温暖化対策計画書

1 事業所等の概要

事業所等の名称	○○事務所 ①				
事業所等の所在地	神奈川県横浜市●●区XX町-△ ②				
延床面積	25,000 ③	㎡	原油換算エネルギー使用量	6,788 ④	k l
エネルギー管理権限	全て有り ⑥		所有形態	所有（オーナー）⑦	
				事業所等の区分	事務所 ⑤

--- 以下は市内全事業所が1事業所の場合、省略可能です。 ---

2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等

	特定温室効果ガス排出量（基礎）		エネルギー消費原単位	
基準年度 2025	13,193	t-CO <sub>2</sub>	82.71	k l / 百万m <sup>3</sup>
目標年度 ※ 2027	10,500	t-CO <sub>2</sub>	80.00	k l / 百万m <sup>3</sup>
削減率	20.4	%	3.3	%

## 『計5』シート

### 個別票

基準年度における原油換算エネルギー使用量が 500kL 以上の事業所ごとに作成してください。

※個別票は縦に配列しており、最大 40 事業所分の作成が可能です。

#### 1 事業所等の概要

- ① 事業所等の名称は、『使用量 1,2 シート』の情報が反映され表示されます。  
**【入力不要】**
- ② 事業所の所在地を入力してください。**【入力必要】**
- ③ 事業所の総延床面積を入力してください。**【入力必要】**
- ④ 原油換算エネルギー使用量は、『使用量 1,2 シート』の情報が反映され表示されます。**【入力不要】**
- ⑤ 事業所の区分をプルダウンリストから選択してください。**【入力必要】**  
プルダウンリストで選択できる項目は次の表の通りです。

事業所等の区分	
工場	商業施設
熱供給施設	宿泊施設
発電施設	医療施設
上水道・下水道施設	研究施設
廃棄物処理施設	教育施設
事務所	文化施設
事務所(電算施設)	倉庫
事務所(テナントビル)	その他

- ⑥ 事業所のエネルギー管理権限の有無をプルダウンリストから選択してください。**【入力必要】**  
プルダウンリストで選択できる項目は、「全て有り」、「一部有り」、「無し」です。
- ⑦ 事業所の所有形態をプルダウンリストから選択してください。**【入力必要】**  
プルダウンリストで選択できる項目は、「所有(オーナー)」、「賃借(テナント)」、「その他」です。

『計5』シート  
個別票

細則第37号様式（第2条第48号）  
（個別票）

地球温暖化対策計画書

1 事業所等の概要

事業所等の名称	〇〇事務所				
事業所等の所在地	神奈川県横浜市●●区XX町-△				
延床面積	25,000	㎡	原油換算エネルギー使用量	6,788	kl
エネルギー管理権限	全て有り		所有形態	所有（オーナー）	

--- 以下は市内全事業所が1事業所のみの場合、省略可能です。 ---

2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等

	特定温室効果ガス排出量（基礎）			エネルギー消費原単位	
基準年度 2025	①	13,193	t-CO <sub>2</sub>	②	82.71 kl/百万㎡
目標年度※ 2027	③	10,500	t-CO <sub>2</sub>	④	80.00 kl/百万㎡
削減率	20.4 %		3.3 %		

## 『計 5』シート

### 個別票

基準年度における原油換算エネルギー使用量が 500kL 以上の事業所ごとに作成してください。

※個別票は縦に配列しており、最大 40 事業所分の作成が可能です。

#### 2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

※以下は市内にある全事業所が 1 事業所のみの場合、省略可能です。

- ① 基準年度の特定温室効果ガス排出量(基礎)は、「使用量 1,2 シート」から、基準年度における排出量が反映され表示します。**【入力不要】**
- ② 基準年度のエネルギー消費原単位は、『使用量 1,2 シート』の情報が反映され表示されます。**【入力不要】**
- ③ 目標年度の特定温室効果ガス排出量(基礎)を設定してください。**【入力必要】**
- ④ 目標年度のエネルギー消費原単位及び原単位の指標を設定してください。**【入力必要】**

## 第4章 提出書の作成

### 『提』シート

細則第37号様式の2（第2条第48号の2）

地球温暖化対策計画書提出書兼  
地球温暖化対策実施状況報告書提出書

（提出先）2026年 7月 30日  
横浜市長

住所 神奈川県横浜市〇〇区××町■-△

株式会社 横浜  
氏名  
代表取締役社長 横浜 太郎

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例第144条第1項及び第2項の規定により、  
別添の通り地球温暖化対策計画書兼地球温暖化対策実施状況報告書を提出します。

## 第5章 評価の確認

### 『評価』シート

評価結果

**1 基礎情報**

	事業者名 株式会社 横浜		区分	部門
評価対象	計画書		1、2号	○ 業務部門
			3号	○ 運輸部門

**2 評価結果**

【1、2号】

項 目		第一年度	第二年度	第三年度	目標年度 (2027年度)
計画書	削減目標の設定状況	基礎			B
		調整後			B
	基本対策の実施状況及び計画	-			A
	重点対策の実施状況及び計画	-			A+
報告書	排出量削減率	基礎			

## 『提』シート

計画書等に入力いただいた情報から自動作成されます。記入の必要はありません。

【入力不要】

## 『評価』シート

入力いただいた報告書、計画書の評価を確認することができます。【入力不要】

## 第6章 作成したデータ等の提出

作成したデータ等を、横浜市電子申請・届出システムで提出してください。

以下の資料が対象となる場合には、添付資料として提出してください

- ・クレジット等の認証削減量の写し
- ・委任状(代表者と提出者が異なる場合※)

※前年度までに委任状を提出済で、代表者及び受任者に変更がない場合は提出不要

### 【提出先】

横浜市電子申請・届出システム

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/f8fd1056-e75a-489c-850a-d21bb7c278ec/start>



※電子申請システムで提出できない場合は個別にご相談ください。

連絡先: 横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素マネジメント課 計画書制度担当

電話番号: 045-671-4224

電子メール: da-keikakusho@city.yokohama.lg.jp

副本が必要な方は、所定額の切手を貼った返信用封筒を同封の上、紙媒体を窓口へ持参もしくは郵送してください。

### 非公表事項に関する取扱い（事前にご相談ください）

- 計画書等の記載内容で、公表することにより、事業者の競争上の地位その他正当な利益を害するおそれのある事項が含まれる場合については、非公表とする旨を市に請求することができます。
- その請求に関して市が妥当と認めた場合に、当該事項を非公表とします。